土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　国際拠点港湾　広島港　江波地区　港湾海岸保全施設整備事業に伴う測量地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　港湾 護岸

ボーリング名	R5-No.1	**調査位置**	広島県広島市中区江波沖地内			**北緯**	34° 21′ 14.17″
発注機関	広島県広島港湾振興事務所			**調査期間**	令和5年 11月 21日 ～ 令和5年 12月 4日	**東経**	132° 25′ 57.28″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 2.75m	**角度**	180°／上下／90°／0°／0°	**方位**	北 0°／270° 西／90° 東／180° 南／0°	**地盤勾配**	水平0°／鉛直 90°／0°
総削孔長	38.00m					**使用機種**	**試錐機**：東邦地下工機　D1-B48型
							エンジン：ヤンマーディーゼル　NFD-13型　**ポンプ**：東邦地下工機　BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	2.05	0.70		コンクリート	Rm	灰		rc5		鉄筋コンクリート。薄い鉄板を挟む。
	1.85	0.90		玉石	Rm	灰				直径10cm程度の円礫からなる。
1				礫混じり砂	SCs-G	淡褐灰	rd3			細砂・中砂を主体とする粒径均一な砂で，細粒分は少なく色調は褐色を帯びる。全体的に直径2cm程度の亜円礫とコンクリート片がわずかに混じり，上部の深度1m付近は礫が多い。
2										
3					S-Cs		rd2			
4	-1.25	4.00								
5				砂	S-CsG	灰	rd2			粗砂を主体とする粒径均一で細粒分の少ない砂。貝殻片が多く混じる。深度6m付近は細砂・中砂主体の砂であり，深度6.3mに軟らかい粘性土の薄層を挟む。
6										
7	-4.25	7.00								
8				砂	S-Cs	灰	rd3			細砂・中砂主体の粒径均一で細粒分の少ない砂。層相は均質である。貝殻片がわずかに混じる。
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15	-12.25	15.00								
16				シルト質砂	SCs	暗灰	rd2			微細砂・細砂を主体する，細粒分が比較的多い砂。粘性土の薄層を挟み，上部は砂層と互層をなす。腐植物が少量混じる。
17	-13.95	16.70		砂混じりシルト	CH-S	暗灰		rc2	完新世	微細砂を含む粘性土。試料の含水比は中位で軟らかく，光沢は鈍い。
18										
19	-16.75	19.50								
20				シルト	CH	暗灰		rc2		
21										
22										
23										
24										

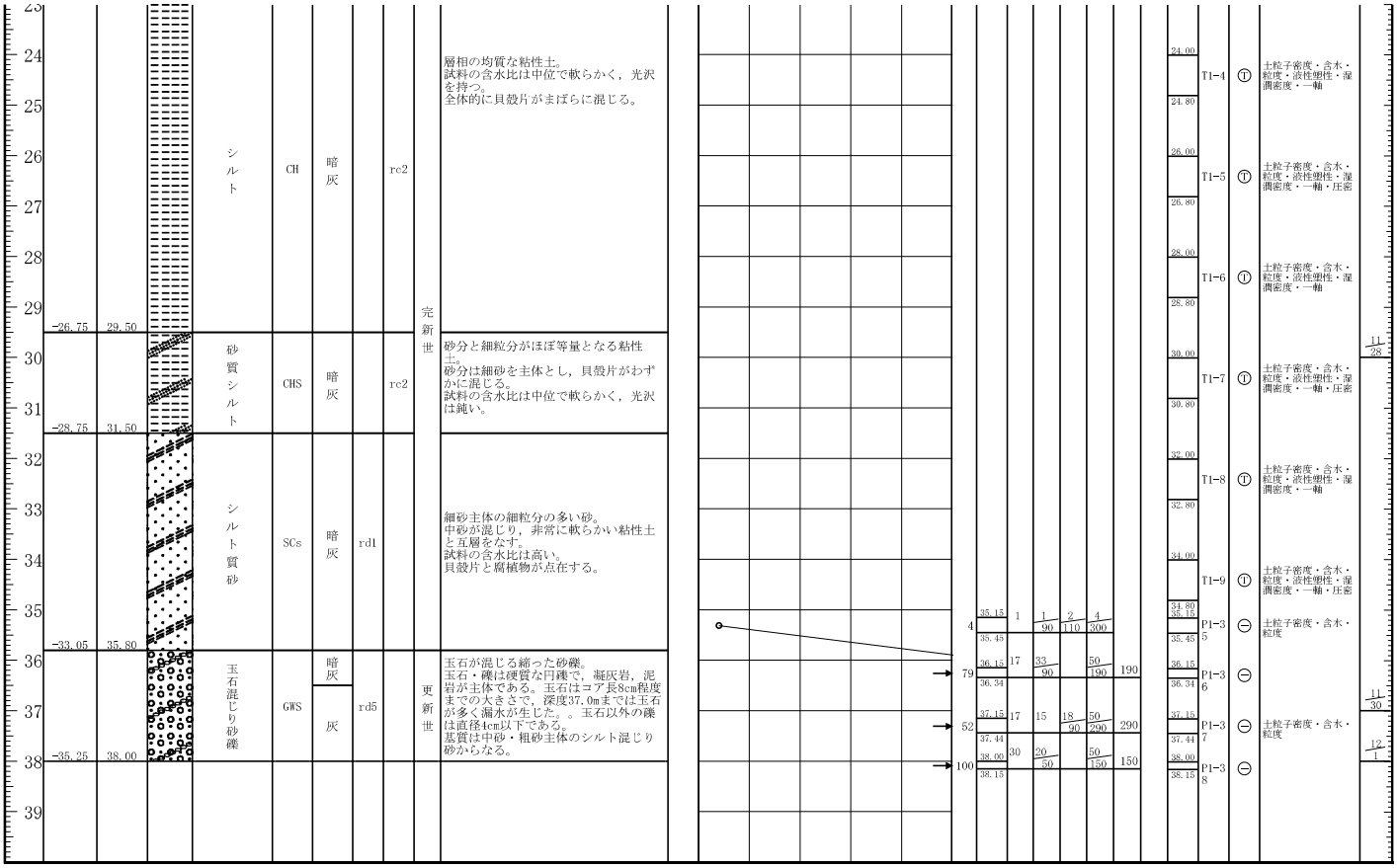
孔内水位／測定月日：11/28 2.25；11/30 3.50

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
15	1.15	5	5	5	15/300		
	1.45						
8	2.15	2	3	3	8/300		
	2.45						
9	3.15	3	3	3	9/300		
	3.45						
6	4.15	2	2	2	6/300		
	4.45						
6	5.15	2	2	2	6/300		
	5.45						
5	6.15	2/120	1/80	2	5/300		
	6.45						
14	7.15	5	4	5	14/300		
	7.45						
13	8.15	4	4	5	13/300		
	8.45						
15	9.15	5	5	5	15/300		
	9.45						
15	10.15	5	5	5	15/300		
	10.45						
14	11.15	4	5	5	14/300		
	11.45						
12	12.15	4	4	4	12/300		
	12.45						
12	13.15	4	4	4	12/300		
	13.45						
10	14.15	3	3	4	10/300		
	14.45						
9	15.15	3	3	3	9/300		
	15.45						
6	16.15	2	2	2	6/300		
	16.45						
3	17.15	1	1	2/150	4/250		
	17.50						

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15	P1-1	⊖	土粒子密度・含水・粒度		11/22
1.45					
2.15	P1-2	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
2.45					
3.15	P1-3	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
3.45					
4.15	P1-4	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
4.45					
5.15	P1-5	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
5.45					
6.15	P1-6	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
6.45					
7.15	P1-7	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
7.45					
8.15	P1-8	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
8.45					
9.15	P1-9	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
9.45					
10.15	P1-10	⊖	土粒子密度・含水・粒度		11/24
10.45					
11.15	P1-11	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
11.45					
12.15	P1-12	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
12.45					
13.15	P1-13	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
13.45					
14.15	P1-14	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
14.45					
15.15	P1-15	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
15.45					
16.15	P1-16	⊖	土粒子密度・含水・粒度		
16.45					
17.15	P1-17	⊖	土粒子密度・含水・粒度・液性塑性		
17.50					
18.00	T1-1	Ⓣ	土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸・圧密		11/27
18.80					
20.00	T1-2	Ⓣ	土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸		
20.80					
22.00	T1-3	Ⓣ	土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸・圧密		
22.80					
24.00					


23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
-26.75
29.50
-28.75
31.50
-33.05
35.80
-35.25
38.00
シルト
CH
暗灰
rc2
完新世
層相の均質な粘性土。
試料の含水比は中位で軟らかく，光沢を持つ。
全体的に貝殻片がまばらに混じる。
砂質シルト
CHS
暗灰
rc2
砂分と細粒分がほぼ等量となる粘性土。
砂分は細砂を主体とし，貝殻片がわずかに混じる。
試料の含水比は中位で軟らかく，光沢は鈍い。
シルト質砂
SCs
暗灰
rd1
細砂主体の細粒分の多い砂。
中砂が混じり，非常に軟らかい粘性土と互層をなす。
試料の含水比は高い。
貝殻片と腐植物が点在する。
玉石混じり砂礫
GWS
暗灰
灰
rd5
更新世
玉石が混じる締った砂礫。
玉石・礫は硬質な円礫で，凝灰岩，泥岩が主体である。玉石はコア長8cm程度までの大きさで，深度37.0mまでは玉石が多く漏水が生じた。。玉石以外の礫は直径4cm以下である。
基質は中砂・粗砂主体のシルト混じり砂からなる。
35.15
35.45
36.15
36.34
37.15
37.44
38.00
38.15
4
79
52
100
1
17
17
30
1
33
15
20
2
18
110
90
50
50
4
50
300
190
290
150
190
290
150
24.00
24.80
26.00
26.80
28.00
28.80
30.00
30.80
32.00
32.80
34.00
34.80
35.15
35.45
36.15
36.34
37.15
37.44
38.00
38.15
T1-4
T1-5
T1-6
T1-7
T1-8
T1-9
P1-3 5
P1-3 6
P1-3 7
P1-3 8
土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸
土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸・圧密
土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸
土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸・圧密
土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸
土粒子密度・含水・粒度・液性塑性・湿潤密度・一軸・圧密
土粒子密度・含水・粒度
土粒子密度・含水・粒度
11
28
11
30
12
1